

# 室戸市 医療救護行動計画(目指す姿)

従前: 行政を中心とした医療救護計画を作成



## 1 南海トラフ地震の発生で起こり得る安芸支部管内の状況

・大きな揺れ、家屋の倒壊、ライフライン停止、津波による浸水、火災、道路網、通信網の寸断による孤立化、多数の死傷者・行方不明者、医療資源不足……

## 災害医療対策安芸支部会議の検討結果及び住民参加型医療救護体制構築に向けた取り組み

**負傷者の発生**

・管内では、被災状況や交通網の寸断等により、必ずしも指定されている医療救護所等での主体的な医療活動が行うことが出来なくなることが想定される。

このため、従前からの医療救護体制をもとに、「準医療提供場所」(SMS; semi medical spot)や「地域の医療施設」(LMF; local medical facilities)を救護計画に加え、そこへ参加できた医療従事者や住民により、まず、初期治療(応急手当)や安定化措置の実施が必要不可欠と判断。

また、各々の医療救護所、SMS、LMFと災害対策本部との「一時的な情報連絡手段を構築し、必要な情報や資源の提供及び後方搬送が素早く行える体制も重要であると決定する。

**救護病院、医療救護所 + 準医療提供場所、地域の医療施設、住民参加**

**応急手当・安定化措置・療養**

- 負傷者は何処へ搬送したら?
- 医療品や人材は何処へ行ったら?
- どこで医療活動が行えるか?
- 医療提供情報を知りたい?

**必要なアイテム** 自助 近助 共助 公助

**後方搬送場所(外部受援)** 訓練 啓発 計画 通信

**3 家族や近所の人が大げさがして、助けません。助けを呼びたいのですが、どこへ連絡したら良いですか?**

2 応急手当が出来なかったら、重傷者はどうなるのですか?

**南海トラフ地震 傷者者対応Q&A**

1 負傷した場合、どこで手当してもらえばいいですか? (困る)

基本、やすらぎ(医療救護所)や室戸病院、各SMS、LMFで手当てを行います。また、各地区の診療所の確保も図られています。

ただし、災害時では電気や水道の遮断、医療用品の破損、使用不可等の条件により、応急手当ての処置だけでは足りない可能性があります。

・Q&Aを作成し、負傷者への対応を周知(医療体制の限界も周知し、怪我をしない、地域づくりを目指す。)

**室戸市 医療救護プラン**

吉良川地区版

誰もが活用できる内容を目指します。

〈住民用〉

・各地区ごとの医療救護所、SMSの運営に必要なプランの作成

**室戸市 医療救護活動に協力を!!**

南海トラフ地震が発生し、負傷した方が発生します。各地の医療救護所(やすらぎ、室戸SMS、診療所)で傷病者の手当てにあたります。

室戸市医療救護マップ

災害発生後、混乱が想定されるなか、負傷者は何処へ搬送したら? 医療品や人材は何処へ行ったら? どこで医療活動が行えるか? 医療提供情報を知りたい? などの疑問や不安を抱く方が発生します。このため、住民協力をあつた対応が重要であり、町民や市民の方にも負傷者の対応、搬送、応急手当、医療救護活動の支援などの医療救護活動を実施する予定です。

今週、医療救護プランを策定し、負傷者が発生した場合の対応を明確にし、訓練や勉強会への参加をお願いします。

定期的な広報誌等による広報

・市の医療救護体制について日頃からの周知

## 2 住民参加型 室戸市医療救護行動計画の概要

### 誰もが協力できる「新たな医療救護行動計画」の策定 室戸市

**住民を中心としたネットワークを構築**

**目的** → 負傷者に対し、迅速・正確な治療・処置・療養・搬送を行います。

**目標** → 目的達成に必要な行動を明確にし、各自が速やかに対応可能な行動を起こせる仕組みを整備します。また、日頃から災害を意識し、減災(負傷者の低減)を目指します。



## 住民参加型 配備計画

